

どうして献血が必要なのですか？

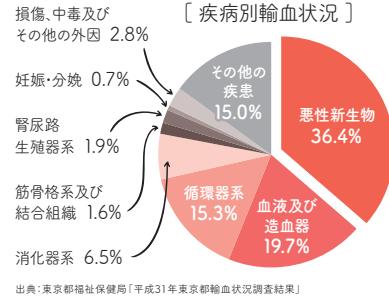
血液は人工的に作ることができず、輸血を必要とする方を助ける唯一の方法が献血です。

毎日約3,000人が輸血を必要としています。

この量をまかなうためには、1日当たり約13,000人の献血が必要です。毎日多くの患者さんを救うためには、少しでもたくさんの献血が必要です。

3,000人

13,000人／日



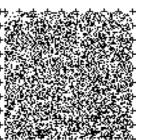
長く病気で苦しむ人の命をつなぐため。

実は、輸血を必要としている人の多くは、がん患者さん。あなたの献血によって、患者さんの明日がつながります。

血液の有効期間は、限られています。

献血によってつくられる血液製剤の有効期間は、短いものだと4日間です。常に十分な血液製剤を確保しておくためには、日常的な献血への協力が不可欠です。

4 最短
日間



輸血、だけじゃない。
献血からつくられる薬。

血液からは、血漿分画製剤という薬がつくられ、ある種の神経疾患や川崎病などの様々な病気の治療に使われています。

献血のくわしいこと、教えて！

大きく2種類の方法があり、種類によって基準が違います。

全血献血

採血時間目安 10分～15分程度*

血液中のすべての成分を採血する方法。
200mL・400mL献血という、採血量の違いがあります。



成分献血

採血時間目安 40分～90分程度*

血小板や血漿といった特定の成分だけを採血し、体内で回復に時間がかかる赤血球は再び体内に戻す方法。時間はやや長くかかりますが、比較的身体への負担が軽いという特長があります。

全血献血

200mL献血

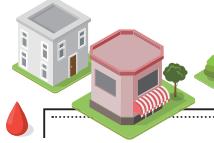
400mL献血

成分献血

血漿成分献血 血小板成分献血

1回の献血量	200mL献血	400mL献血	600mL以下
年齢	男 16歳から	17歳から	18歳から
体重	男 45kg以上	50kg以上	45kg以上
女	40kg以上		40kg以上

*その他受付・問診・血液検査・休憩で計30分ほどいただきます



献血するときの注意点は？

☑ 薬を飲んでいる

病気や薬の種類によって、献血をご遠慮いただくことがあります。
ビタミン剤などは、内服していても支障ありません。



☑ 最近、歯科治療を受けた

3日以内に出血を伴う治療を受けた場合など。



☑ 海外に行った

帰国当日から4週間以内、特定の時期に一定期間イギリスなどの海外渡航歴がある方については、一部制限があります。



☑ ピアスの穴を開けた

場合によって、1～6ヶ月間献血ができないことがあります。また、唇や口の中、鼻など粘膜を貫通してピアスをしている方は、献血をご遠慮いただいています。

献血ルームでは、どんなことをするのですか？

はじめてでも、大丈夫。献血ルームはとてもきれい。スタッフも優しくて、リラックスして献血に臨めるはず。

ステップ1 受付

受付確認票を記入／身分証明書で本人確認

ステップ2 質問への回答

安全な献血・輸血のため、健康状態などに関する質問に回答

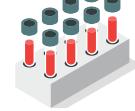
ステップ3 問診・血圧測定

医師による問診・血圧測定



ステップ4 血液検査

ヘモグロビン濃度が採血基準を満たしているかどうかなど測定



ステップ5 採血

採血ベッドで、いざ献血！

ステップ6 休憩

ゆっくり休んで、おつかれさまでした。

感染症対策をしっかり実施中！

献血ルームfeel



例えば以下にあてはまる場合など、不安なときは献血会場の検診医にご相談ください。

